



唐桑小学校だより

令和4年2月1日(火) TEL 32-3142

カラー版はホームページからどうぞ！URL: <http://www.kesenuma.ed.jp/karakuwa-syou/>

第5回 リアスサミット in 唐桑 「地域の未来を考える」～ふるさとへの思いを形に

1月27日(木)に「第5回リアスサミット in 唐桑」を開催いたしました。コロナ感染症予防のための十分な対策を行いながら、これまでの海洋教育や生活科の学習の時間に探究的な学びの積み重ねを通して得た学びについて、発表しました。1・2年生は展示、3～6年生はポスターセッション、さらに5・6年生は対話による学び合いを実践しました。月立小学校の高学年の8名、そして多くの活動や体験でいつもお世話になっている学校支援委員会の皆様、6年生の保護者の皆様に参加していただきました。

今年度の特徴の一つとして、ポスターだけでなく、タブレットやモニター画面などのICTを活用した発表もあり、伝えたいことがより伝わったと思います。参加してくださった学習支援の方が児童に「大事なことを課題に選んで、よくそこまで調べたね。地域の大人にとっても大切な問題なんだよ。」と、励ましの言葉を掛けてくださっていました。児童は、自信をもって発表することができました。そして、質疑応答を通しても持った課題について今後も探究していき、最終のまとめに取り組んでいきます。

サミットの進行、開会や閉会の挨拶、趣旨説明、「みんなで語ろう」のファシリテーターなど、多くの役割を中心となって主体的に取り組んだ6年生がとても頼もしく、唐桑小学校のリーダーとしてたくましい姿をたくさん見せてくれました。

各学年のポスターがそれぞれの教室前等に展示されておりますので、1～5年生の保護者の皆様には、2月16日(水)の授業参観日にぜひ御覧ください。



参加した方々よりいただいたご感想を紹介します

本日はコロナ禍の中、リアスサミット in 唐桑にお招きいただきありがとうございます。各グループの発表、一人一人がはっきりと話し、またタブレット、絵で説明し分かりやすく、本当に素晴らしくよかったです。

6年生のみなさんは難しい話をされていて、よくも唐桑のことをしらべたものと教えられることが多く、現在の小学校は賢くすごいと感心しました。特に海洋汚染について真剣に考えているので頼もしい限りです。

グループでの討論会では人口減少の話が多数からあり、これは唐桑ばかりの問題ではありませんが、小学生も考えているのだなあと思いました。このような立派な発表会、コロナ禍でなければもっともっと多くの人に見せたらと思いました。

